

令和8年5月25日

保護者の皆様へ

千早赤阪村立中学校
校長 蔦 亜紀朗

麻疹（はしか）の感染拡大防止について（お願い）

平素は、本校教育活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、現在国内で令和2年以降最多のペースで麻疹（はしか）患者の発生が確認されています。本校においては、現時点で患者確認されておりませんが、万が一罹患した場合には、保健所による疫学検査等に協力する必要がありますので、保護者の皆様におかれましては、下記についてご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、お子さまが麻疹（はしか）に罹患された場合は、必ず早急に学校までご連絡ください。

記

1、麻疹（はしか）について

特徴	感染力がととも強く、発症率も高い
感染経路	空気感染、飛沫感染（咳・くしゃみ）、接触感染
潜伏期間	約10～12日間（最大21日間）
症状	<カタル期> 発熱（38℃前後）が3～4日間続き、咳・くしゃみ・鼻水など風邪様症状、結膜炎症状が現れる。 乳幼児では、下痢・腹痛を伴うことが多い。 熱が一時下がる頃、頬粘膜に白色小斑点（コプリック班）が出現。 <発疹期> 一時熱が下がり、再度高熱（39.5℃以上）、赤色小発疹が顔から全身に広がる。 <回復期> 発疹出現後、3～4日続いた発熱が解熱、発疹は色素沈着し消退、回復に向かう。
感染可能期間	発症日（*1）の1日前から解熱後3日間（*2）を経過するまで （*1）発症日：37.5℃以上の熱、咳・くしゃみ・鼻水など風邪様症状、結膜炎症状 （*2）解熱後3日間：解熱した日を0日目、翌日を1日目として3日間を経過するまでを指す。全経過を通じて発熱が見られなかった場合、感染可能期間は発疹出現後5日目までとする。
合併症	肺炎、脳炎、中耳炎、クループ症候群、亜急性硬化性全脳炎（SSPE）等
治療/予防	対処療法が中心。ワクチンによる予防が最も有効。

2、体調不良時の対応について

麻疹（はしか）を疑う症状がある場合には、事前に医療機関にその旨を連絡し、速やかに受診してください。麻疹（はしか）と診断された場合は、出席停止となります。登校再開については、解熱後3日を経過するまでとなっています。登校の際は、医療機関から発行される「治癒証明書（意見書）」を学校までご提出ください。必ず医師の指示を受け、出席停止期間を守っていただくようお願いいたします。

以上